

≪狭山特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部	R6.5.1 児童・生徒数	(男) 125 (女) 65	計 190
アクセス	西武鉄道 仏子駅下車 徒歩 20 分 西武バス狭山市駅西口～狭山グリーンハイツ「根岸新道」下車徒歩 20 分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの児童生徒にそれぞれのニーズに合わせた指導・支援を行う教育内容。 ・見通しを持って学習に取り組むための教材教具の作成。分かりやすい視覚支援ツールの活用。 ・小・中学部特別支援学校として、小中学部の良さを生かした教育活動の推進。 ・学びの連続性を重視した教育課程。 ・太田ステージを活用した児童生徒理解と、事例研究等の校内研究の推進。 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の児童生徒が一丸となり取り組む運動会・文化祭 ・生活年齢の応じた活動で豊かな経験を積み重ねる宿泊学習。 ・障害特性に配慮した活動内容でみんなで楽しむ修学旅行。 ・それぞれのゴールを目指して頑張るマラソン大会（中学部）。 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、来校者等すべてに校内の施設、配置、動線が分かりやすくするために掲示物や廊下の表示を工夫。 ・近隣の小中学校との支援籍学習及びセンター的機能による情報交換や指導助言。 ・学校ホームページ等を通して本校の取組みをさらに広く P R し、保護者、地域から信頼される学校作りの実施。 ・コミュニティ・スクールの導入による地域との連携強化。 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度卒業生 17 名の進路 入間わかくさ高等特別支援学校普通科進学 16 名、高等学校進学 1 名。 ・入間わかくさ高等特別支援学校との連携。 ・狭山特別支援学校狭山清陵分校との連携。 ・中学部 3 年、保護者、教職員対象の見学会、体験学習をそれぞれ実施。 これらの取り組みにより、中学部卒業後のイメージを持てるよう指導。 ・高等部卒業後の視点を大切にしたカリキュラム・マネジメントを計画的・組織的に行い、入間わかくさ高等特別支援学校等と児童生徒、P T A との連携を強化。 						



マスコットキャラクター
茶娘ちゃん

学校教育目標

(目指す子ども像)

さ

さえあう

や

りとげる

ま

なびあう

たくさんの行事で育みます

- ☆汗いっぱいがんばる運動会
- ☆歌や踊りをみんなと発表する
びかびか祭り(文化祭)
- ☆みんなと一緒に宿泊学習
遠足、社会体験学習



キャリア教育を推進

- 学習の中での取り組み
- 家庭との連携
保護者対象の
進路講演会
公開学習会
進路先見学会

小学部低学年

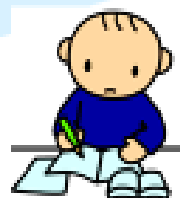
- 自分の気持ちを伝え、たくさんの
人と関わり合いながら一緒に活動する。
- ☆「やってみたい」「やってみよ
う」と自分から取り組む。

中学部

- 集団生活に必要な能力や態度を養い、
よりよく生活していく力を育てる。
- ☆作業学習「紙すき」「農園芸」
「織物・手芸」「革工芸」を通じて仲間
と一緒に学び、楽しむ力をつける。
- ☆卒業後を見据え、目標・希望を持って
見学・説明会・体験学習に参加する。

小学部高学年

- ☆集団を意識し、みんなと一緒に活動
する力を育てる。
- みんなと一緒に楽しく学びあう力を
育てる。



自主性
社会性

支援籍では、
居住地の小、中学校で
楽しく勉強をします。

個に応じた支援・指導の充実

- 児童生徒が見通しを持ちながら
学習する支援ツールの活用
- 校内構造化への取組み校内表示の充実。

卒業後の進路先

自らの進路選択

高等部普通科

高等部職業学科

分校・高等学園

就労(一般・福祉)

私たちの宣言

私たちは、一人一人を大切にする指導の充実を
するために、子ども
たちの自立をめざし、
個性を大切にしながら、
可能性を最大限に伸ば
す支援を行います。ま
た、支援・指導方法を
充実するために学級、
学年、学部会議など
で情報を交換し合いな
がら個々の教員の得意
分野を活かし、一人一
人の子どもたちの実態
に合った指導・支援を
進めます。

狭山特別支援学校には、小・中学部の本校と、高等部の狭山清陵分校があります。